

大勢の市民らでにぎわった「讃岐うどんタイムカプセル」  
2 坂出市林田町



### 大正、昭和、近未来

# 3時代どれももうまい!

うどん食べ比べに900人 坂出

大正、昭和、近未来、三時代の讃岐うどんを食べ比べるイベント「さぬきうどんタイムカプセル2」が三日、坂出市林田町の製粉会社吉原食糧で開かれた。訪れた市民らは三種類とも存分に味わった上で「色も食感もだいぶ違う」「昔に比べてツルツル感は今の方が上」と比較。香川の「食の顔」がたどってきた歴史に思いをはせた。

イベントは、讃岐うどん かわらず、昨年を越す九人に対する興味をより深 百人が訪れた。めてもらおうと、同社が うどんは石うすで小麦 粉をひいた大正十二(一 三時代に引き続き実施。 九二三年、機械製粉に 産物の販売などもあり、 による粗びきの昭和三十六 雨混じりの曇り空にもか (一九六一)年、現代人 用に豪州、県産の小麦を

組み合わせた二〇一五年の三種類。いずれも「ぶっかけ」で提供した。

会場には午前十時の開始前から愛好家や家族連れらが詰めかけ、開場と同時に販売スペースへ行列をつくった。三種類とも試食する人が多く、計千五百杯は約二時間で売り切れ。松山市から夫婦で足を運んだという会社員増田昌彦さん(五〇)は「三種類とも食べた。大正はザラザラ感があって素朴な風味。どの時代も個性があり、おいしい」と満足げだった。